

【R4】空き家活用型SN住宅等新たなニーズに対応した利活用の検討と 多様な情報発信ツールを活用した空き家登録システムの構築

別添資料4

■ 事業概要

熊本市及び近郊市町村の住民向けに、空き家型SN住宅も含めた一体型空き家バンクホームページの作成及び、空き家活用の啓発と、空室活用判断基準目安表と、融資判断改修提案書作成をした。

事業部門	部門3 ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応した総合的・特徴的な取組を行う事業
事業地域	熊本市及び近郊市町村
背景・課題	<ul style="list-style-type: none">本市の空き家バンク登録物件は、戸数も少なく、売買可能な優良な登録しかない戸建て空き家対策だけでは、今後も空き家が増加してしまう住宅確保要配慮者向けのSN住宅への転用など多様な利活用方法の検討が必要
事業の概要	<ol style="list-style-type: none">登録情報について、物件や周辺環境、SN住宅を対象とした情報提供・周知方法の多様化登録物件の流通促進のための利活用判断基準や要配慮者を対象とした機能の検討規模の大きい戸建ての居室の一部だけを使用したいニーズへの対応
連携する団体・役割	熊本市：空き家情報の提供 空き家向け金融商品等の情報提供 熊本県立大学：空き家対応型ホームページの開発と助言 全国賃貸住宅経営者協会連合会熊本県支部：賃貸空き家物件の紹介、空家オーナーへの理解促進

■ 事業の取組詳細

【1】 空き家型SN住宅も含めた一体型空き家バンクホームページの作成

物件の特徴を分かりやすく表示する「ピクトグラム」、「360度画像」、「tik tok」、「YouTube」の動画を実装し、ワンストップ情報提供ホームページの作成

【2】 利活用判断基準や要配慮者を対象とした機能の検討

所有者（貸主）には改修する項目を、賃貸管理者には入居後に苦情の多い修繕箇所の項目を整理した空室活用判断基準目安表を作成し、融資判断改修提案書作成の官民協働の検討を行った

【3】 規模の大きな戸建ての利活用について先進事例から学ぶ

相続による空き家所有者の賃貸志向ニーズが高いことが判ったため、部分貸しやDIY型賃貸など多様な賃貸管理の可能性について、参加者と賃貸管理会社が直接交流できるセミナーを開催